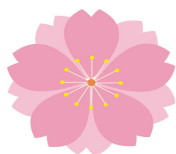


平成24年度 よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! プログラム ①

集って・つながる・みんなのボラセン

～「喫茶あい・テラス」で お知恵拝借～



※ ボラセン = ボランティアセンターの略、
能美市では能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターのこと

3月2日(土) 10時から12時まで
辰口健康福祉センターにおいて、ボラン
ティアセンターにおける“交流”を体感し
ようと、学生からシニア世代まで合わせて
35名の方が来場されました。

月	火	水	木	金	土	日
				3/1	3/2	3/3
3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10

内容

私たちのボランティアセンターづくり委員会が、検討を重ねてきた「皆が使いやすく、自由にちょっと立ち寄ってもらえるボラセン」を具体的な形として開催している「喫茶あい・テラス」の体験として、ボランティアグループ「加賀佐野小町」のよさこいパフォーマンスを参加者全員で踊りながら、交流を深めました。

その後、喫茶コーナーでのコーヒーやゆず茶を楽しみながら、「ボランティアと協力して、行事を企画しよう!」をテーマにグループワークを行い、ボランティア活動者と一般参加者が情報交換を行いました。各グループからは、「自分の町の行事にもボランティアの方に協力してもらい、環境に関することに取り組んでみたい。」「町民全員参加の世代間交流として、ボランティアやわが町の昔の遊びが得意な人に教えてもらう企画したい」という意見が挙がりました。

まとめ

参加者の中には、学校の福祉教育や環境活動などで活躍しているボランティアもあることを知り、「ぜひ今度自分の町でも来て研修会に協力してほしい。」と話す方もいました。

ボランティア活動者・一般参加者ともに年代に関係なく自分たちの身近なところにボランティアが存在していることを再確認する機会となりました。

参加者の感想

- ・よさこいボランティアの体験で鑑賞するだけでなく、一緒に踊ったことが新鮮で楽しかった。
- ・エコキャップ収集をしている方の話を聞いて、子どもと一緒にやってみたいと思った。
- ・ボランティアだけでなく、住民同士の交流の方法も聞くことが出来た。
- ・グループワークで行事を企画を企画することが雲をつかむように思ったが、グループの人達と話をすすめて形になった。この話し合いを参考にして町会でもやってみたい。



ボランティアグループ活動体験でよさこいパフォーマンスで汗を流して、みんなでリラックス



「こんな活動もあるよ」とボランティアさんにアドバイスをもらいながら、行事を企画。